

みんなで 長寿を祝う

平成25年度

藤里町敬老式

式典では、佐々木町長や来賓の方々から長寿を祝うあいさつが行われたほか、代表者に記念品が贈呈されました。

記念品は、初敬老を代表して桂田良子さん（浅間町）、米寿を代表して小森フミさん（清水岱）に敬老祝商品利用券が、傘寿を代表して佐藤秋夫さん（館の下）にステッキがそれぞれ贈られました。



お礼のことば

5月10日、町民体育館において、平成25年度藤里町敬老式が挙行され、敬老者370名余が式典に出席し、盛大に長寿をお祝いしました。

今年めでたく敬老式を迎えた方々は1,229名で、初敬老の方（昭和17年4月2日から昭和18年4月1日までに生まれた方）が61名、数えで80歳の「傘寿」（昭和9年生まれ）の方が69名、88歳の「米寿」（大正15年（昭和元年）生まれ）の方が48名となっています。

「引き続き催された祝宴では、各地区の婦人会や藤里幼稚園の園児による踊りなどが披露され、会場からは大きな拍手が送られました。

長い人生で培われた皆さんの経験と知識など、お力添えを頂きたい。皆様のさらなる長寿とご活躍を心からご祈念申し上げる。」と式辞が述べられ、続いて荒川山本福祉事務所長、藤原町議会議長両来賓からそれぞれ祝辞が送られると、敬老者を代表して桂田善昭さん（谷地）が表して、「山・川・水に恵まれ、世界自然遺産白神山地という宝物を抱き、また社会福祉事業や生活環境の充実を推し進めてきたふるさと、藤里町が今後ますます発展することを期待してやまない。私たちは、これからも長年培ってきた豊かな経験と知恵を出して

佐々木町長からは、「敬老者の皆さん、お仕事に励まれ自らの人生を切り拓き、家族を支え、時には若い世代を導きながら、この町で人生の歴史を築いてこられた。町では、11月1日に町制施行50周年を迎えることから、いろいろな事業を計画しているが、実りある事業とするために、



いつまでもげんきでいて
ください



記念品の贈呈